

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還） 53

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43851

池田樹林 了之 年 終 有 念 茲 (昭 三 九 七 五 〇)

池田了之

秘
封

池田総理、ワトソン高等弁務官
会談要旨
昭和39. 7.30
アメリカ局

日時 7月30日午前11時より約1時間
同席 鈴木官房長官、西堀参事官、有馬事務官通訳
ライシャワー大使、フランス書記官

総理 貴官は、前に日本においでになつたようだが、私はお会いする機会がなかつた。

ワトソン 私は1945年10月から47年10月まで東京にいた。マッカーサー司令部で、海外にいた日本人の帰国問題を取扱つていた。

総理 総司令部には、自分もマーカット少将に会うためにほとんど日参した。当時はドッジ財政顧問もいて、同氏にもよく会つた。

ワトソン 私はマーカット少将は少ししか知らない。何故ならば、私は当時大佐で、マーカット少将は偉らすぎたからだ。

ライシャワー 私は当時中佐、もつと下だつた。

総理 沖縄御赴任の途中、多忙のところ本日御来

訪をうけてうれしく思う。現在の高等弁務官キアラウエー中將とは不幸にして会う機会がなかつた。しかし、このように沖縄の最高責任者たる高等弁務官と私とが会見して話しをすることは、沖縄住民のために、従つてまた、日米関係のために大変よいことと思う。

ワトソン 総理は責任をもつて国務に尽しておられる非常に御多忙な方であるに拘わらず、今日このように時間をとつて頂いて有難い。

総理 自分も大変うれしい。殊に新聞紙上等で御承知と思ひが、沖縄問題が、日米関係において重要な問題となつており、日本国民全体が貴官と私との会談に大いに期待しているからである。

沖縄問題について、貴官はすでにワシントンにおいて「水浸しになるほど」多くのブリーフィングを受けられたので、十分御承知と思ひが、実は1961年に自分がワシントンに赴き、ケネディー大統領と沖縄問題を話し合い、意見の一致をみたことは、共同コミニケでうたつた。それが基礎となつて、翌1962年3月にはケ

ネディーの新政策の発表となつた。これら共同コミニケ及び大統領声明には、ケネディーと自分との間の意見の一致をみた点、沖縄施政に対する態度、気持ちが十分でていると思う。

現在沖縄問題が、日米関係にとって一つの大きなエレメントとなつていゝることを考慮されて、沖縄住民の福祉増進、民生の向上のために力を尽して貰いたい。沖縄住民の愛国心については、貴官は戦争中に身をもつて感じられた筈である。彼らは、日本に1日も早く復帰したいとの気持ちを有している。勿論現在米国は、世界の平和と極東の安全のために、沖縄を軍事基地としてここに施政権を及ぼしているといふことに対し、われわれは異議を唱えるものではない。しかし沖縄は、日本の国土であり、沖縄住民は日本国民であるといふことを考えて、立派な施政を行なわれるよう希望する。このことは、軍事的な見地から見ても大切なことであつて、住民の協力をうるといふことが、基地の運営という点からも大切であると思う。さきほど外務大臣とお

会ひの節、貴官は神を信じ、毎晩お祈りをするといわれたといふことを聞いて、自分は非常にうれしく思つてゐる。実は、自分も毎朝神に祈つてゐるのだ。戦後日本においては、神、仏に対する気持ちが若干うすれてきてゐる。自分は日本の政治を行なうに當つて、敬虔な気持ちで神に祈ることにしてゐる。貴官とはお祈りの時間が朝と夕との違いがあるが、その気持は全く同じであると思う。

ワトソン、自分の考えを述べるに先立ち、まず貴総理と外務大臣との間に意見疎通のきわめてよいことに対し、大いに敬服するものである。自分は外務大臣に、ワシントンで沢山のブリーフィングを受けて水浸しになつた話しをしたが、すでに神に対する祈りの話しまでも貴総理の耳に入つており、貴総理にも申し上げようと思つてゐた「消防ポンプのホース」の冗談を申し上げる機会がなくなつて了つた。

さて冗談ははぶいて、政治を行なうに當つて、神を信じ、敬虔な気持ちで神の摂理に従ふことは、

非常に重要である。

自分は、これから新任地に向い、責任ある任務につくのであるが、自分はあらゆる方面から援助協力をえて仕事をして行くつもりであることを、特に総理に申し上げる。沖縄の施政を行なうに当り、自分は米国政府の政策、その政策については、貴総理が十分御存じのことであるが、それを行なつて行くものである。さらに私は神の存在についてもいろいろの考え方があつたように、どのようにわれわれの目的を達成して行くかということについて意見が違ふことがありえよう、しかし、根本的な目的、精神は、総理の考えておられるところと同じと確信している。

新任務を遂行するに当り、日米双方の利益になるような政策をとるようになす最善の努力をするつもりである。

自分は、2つの大きな使命があると思つてゐる。1つは琉球を極東における防衛の基地として維持することであり、今1つは、沖縄住民の

福祉を向上し続けるということである。しかし、この2つの使命は、このいずれも究極の目的ないし対象は人々 (people) である。われわれは、沖縄住民、日本の国民、極東における友好国の人々を防衛しているのであるが、軍事基地の運営も、民生の向上も、いずれも人々 (people) に指向されているものである。新しい弁務官に就くに当り、自分はこれら2つのコンテクストにおける人々の重要性を決して忘れないということをお貴総理に申し上げたい。

総理 貴官は人の問題ということをおいわれたが、住民の幸福の増進、民生の向上についても、物質的な観点のみでは問題は解決できない。

沖縄の住民も貴官のいわれる people として、自分の自主性というものを心から欲しているのである。勿論沖縄住民は、その施政権が米国にある以上、本土の日本国民が享受しているような自主性を望みえないことは十分承知している。しかし、彼らとしては物質的な面もさることながら、アメリカの軍事基地の維持、従つてそれに必要な米国

の施政権行使が、自分達の考える形において進んで協力できるように行なわれるということが必要なのだ。あえて自治権の確立とはいわないが、自治権のできる限りの拡大である。いわば人としての気持ちの持ち方が大切なのである。今貴官が沖縄に赴任されるのは、非常に難しい時期に行かれるわけである。現在沖縄島民と今の高等弁務官とは、遺憾ながらうまくいっていないようである。今ノツの問題は、自治権の拡大を求めることをめぐって、沖縄の自由民主党が内紛を起して2つに割れているということである。われわれとしても、できうる限り協力して事態の改善に資したいつもりであるが、実は自治権拡大の問題を紛糾の理由とはしているが、結局住民と民政府の意思が疎通していないために起つた問題のようである。貴官が着任されて、近い将来により緊密な意思疎通が確立されることを期待する。

ワトソン 現在沖縄における政治の問題については十分ブリーフを受けてきた。自分としてはなんとか効果的なハッピーな解決に到達すること

を任務の1つとしたい。といつても勿論、私のできることは、知性ある人間ができる程度のことにはすぎないが、感情に溺れず、知性をもつて琉球人のために最善と思われることを行なつて行きたいと考えている。ここにおる方はいわば沖縄についての最高責任者といえよう。貴総理、アメリカ政府代表者としてのライシャワー大使、沖縄の施政に当る自分、3者がよく意見を交換し、最善を尽したいと思う。特に米国政府代表たるライシャワー大使には面識をえたばかりであるが、すでに非常によい友達になつている。われわれ3者がよく協力して、無益な紛争を排除して、琉球における責任ある政府の確立に努力したいと思う。

ライシャワー 池田総理と故ケネディー大統領との会談の結果発表された共同コミニケ、またそれがもとになつたケネディー声明の新政策、それからまた最近設置された協議委員会、技術委員会、これらはいずれも日米双方の理解を深めるということに非常に役立つことと思う。協議

委員会、技術委員会そのものが理解を深める一つの方法として重要なものであるが、基本的政策についても、今ワトソン中将のいわれた協力を今後大いに進めて行きたいと思う。

総理 今ライシャワー大使のふれられた方法の問題がきわめて重要なのである。私は日本人であつて、沖縄人の気持ちをよく理解している。もつともこれはわれわれに限らず、東洋人全般、さらには欧州の方々にも通ずる気持ではないかと思う。それは古来日本にいわれている「政治は無為にして化す」ということである。要するに国民から自発的に盛り上つてくる気持を具現して行くのが政治である。国民に対し、こうしろ、あゝしろと命令して行くということは愚かなことであり、特に他国民を統治して行く場合には、ますますこの「無為にして化す」という考え方が重要であり、東洋人の場合は特にそうである。マッカーサー元帥が日本の占領に当り、天皇制を確立して、日本国民の気持ちの盛り上がりを利用したことはきわめて賢明なことであ

つた。勿論マッカーサー元帥の占領について多くの批判がありえよう。しかし、自分は、この根本義を誤らなかつたマッカーサー元帥の占領はまず成功であつたと考えている。要するに政治の要諦は、統治者ができるだけ黙つていて、国民の赴くところを誤らしめない、というにある。殊に沖縄のように、母国日本から分割されたような地域の住民に接するには、そのよきな心構えが大切なのである。願わくばワトソン將軍もこのよきな精神をもつてことに当らねたい。

ライシャワー 総理は無為に化すといわれたが、これは古い中国の深奥な政治理念であつて、自分がかつて書いた歴史の本の中にもこれについて書いているが、その部分をワトソン將軍にみせるとにしよう。

総理 マッカーサー元帥占領のときに、あゝでもない、こうでもないといつて司令部が指令を発してできたものは、その後矢張り具合が悪かつた。結局われわれ日本人に委せてできたものが一番よかつた。よく池田内閣はなにもしない内

閣だといわれるが、これは今の「無為にして化し」しているのであつて、その証拠に、池田内閣は5年でも6年でも続いているのだ。現在沖縄でキャラウェイ中将が布令、布令と陸続と布令を出しているので、現在のような事態になつていふのだと思う。

ワトソン もともと米国政府は、人民の声をよく聞く政府である。自分も沖縄治政に当つては、民主的な方法で統治を行ないたいと思つている。そのためよく沖縄の情勢を認識し、あらゆることについて実情をよく知ることをまず第1に努める。赤ん坊にたとえれば、まず歩くことから習わねばならない。始めから走れといわれては転んで了う。沖縄の情勢を改善するに当つても徐々にこれを成就するようになりたい。「転んで了つて」大怪我をすることのないようにしたい。

総理 大変長くなつたが、沖縄は暑いところだから時々日本にお出で下さい。

ワトソン 相互によく協力するについては、緊密な接触が必要なので、機会を捉えて参りたいと

思う。いふまでもなく、これは米政府の「無為にして化し」しているのだ。池田内閣は5年でも6年でも続いているのだ。現在沖縄でキャラウェイ中将が布令、布令と陸続と布令を出しているので、現在のような事態になつていふのだと思う。

(会談は、約30分間を予定していたが、話がはずみ、ほとんど1時間に及び、本会談の後に予定されていた白井総務長官とワトソン中将との会談は、予定より相当遅れて行なわれた。)